



にじ

香川大学教育学部附属幼稚園
2016年9月7日

防災・避難訓練について

9月5日の津波想定避難訓練へのご協力、ありがとうございました。避難場所の変更等、いろいろと臨機応変な対応に感謝いたします。天災はいつ起こるかわかりません。また、避難についてもその時々状況により、対応を考えなくてはなりません。安全に避難することを第一に、今回は、第一次避難場所の幼稚園2階への避難を実施いたしました。

日本各地での災害、また世界各地の災害、恐ろしいですが、日ごろからの対応を考えていくことはとても大切です。子どもたちも避難訓練の時には、いつになく真剣な表情で行動する姿が見られます。万が一のとき、自分の命を守るために動けるように、職員みなで今後も対応を考えていきます。

防災について、家庭で話し合い、安全対応チェックをする機会をもってみましょう。

☆地震の後、津波が発生した場合、どれくらいで自分の地域に到達するのか、安全な避難場所はどこか等、情報の窓口を確認しておきましょう。(各市町の避難所等防災マップをインターネットでも調べられます。)

災害時、大切なことは、「自助・共助」です。

あせらず、落ち着いて行動がとれるように、準備・備え・防災知識をもつこと等しっかりと行っていきましょう。



子どもたちへの「大切な命を守る」お話

*自信で揺れたら、まずは落ち着いて、**頭・体を守る。(しゃがんで、低く、じっとして)**

*揺れがおさまったら、安全な場所へ逃げる。

お・か・し・も「おさない」「かけない(走らない)」「静かに」「もどらない」

お家の人や先生、大人のお話をよく聞いて、一緒に逃げることを確かめました。

※喜田先生から、非常時のいろいろな道具・物、食べ物について、お話を聞きました。

裏にクイズがあります。お子様と一緒にたしかめてみてください。

防災グッズクイズ

いろいろある中から、今回子どもたちの印象深かったものを取り上げています。
何のためにあるのかな？(防災頭巾・非常持ち出し袋の中から)

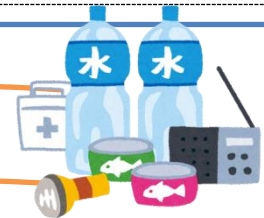
- ①防災頭巾をかぶるのは？
- ②ラジオ（電池付き）は何に使うのかな？
- ③懐中電灯ライトは何に使うのかな？
- ④水は、どんな水を用意しておくのかな？
- ⑤食べ物は、どんなものを用意しておくといいのかな？
- ⑥トイレはどうするのかな？



幼稚園でお話した内容。

- ①頭をけがすると、動けなくなる。一番に守る。
- ②ラジオで、地震の様子や安全に避難するニュースを聞く。
- ③電気が止まってしまうことがある。暗い中でも安心して動けるように。信号としても使える。
- ④いつもの水より長持ちする水。幼稚園では五年間保存水を用意しています。
- ⑤乾パンなど、缶などに入った長持ちする食べ物。
幼稚園では、缶入りビスコ、非常食ご飯を用意しています。
- ⑥いつものトイレが使えない。簡易トイレ(水分を固めるものが入っている)を使う。
幼稚園でも子どもたちに対応できるものを用意しています。

お家の方へ



地震対応について、チェックしてみてください。

～自宅で発生した場合～



1	家庭に防災グッズ(食料、水、ライト、ラジオ、救急道具、薬等、避難生活に必要なもの)をまとめていますか。	
2	家の中の安全な場所を考えて、つくっていますか。 物の置き方等考えて	
3	タンスや棚等を固定し、倒れない対策をしていますか。	
4	棚の上などに物を積み上げていませんか。	
5	緊急時の連絡の取り合いについて、互いに確認していますか。 (居場所・連絡先等)	
6	住んでいるところの避難場所を知り、もしものときの避難路も考えていますか。	

☆ 備えについては、まだまだ考えることがあります。万が一の対応をしておきましょう。